

開講日	2009年4学期 火曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室B	医	技	保
				●	●	○
コーディネーター	化学療法部 部長 小松弘和 腫瘍・免疫内科学 准教授 飯田真介			※●:コア科目、○:選択科目		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】最近の分子標的療法、抗体療法、内視鏡手術、放射線照射技術などの著しい進歩に加えて、外来化学療法室の利用や緩和ケアチームの重要性、そして病院内での化学療法レジメン登録などの安全管理も含め職種を超えたがんのチーム医療の現状と展望を学びがん医療現場への復帰を促す。 【期待される成果】2007年に施行開始されたがん対策基本法の骨子である「がん医療の均てん化」に向けて、医師、看護師、薬剤師におけるがん専門医療者育成の礎となる
目標とする 資格	本講義は、以下の資格の取得を目標にしています: 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医、日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師、日本看護協会 がん化学療法認定看護師

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
がんの基礎	1	がんの記述疫学	がんの疫学について、本邦における特徴を掴むとともに、がん診療における診療対象として主となるがん種、増加するがん種、またその発症要因を整理する。	4月7日	講師 鈴木 貞夫 名古屋市立大学医学研究科 公衆衛生学
	2	がんの病理診断と遺伝子診断	がんの病理体系を理解しながら、遺伝子診断法の開発と臨床での病理診断への応用法について整理する。	4月14日	准教授 稲垣 宏 名古屋市立大学医学研究科 臨床病態病理学
	3	がんの細胞生物学	がんの発症、進展、転移のメカニズムを分子生物学的立場から学ぶとともに、臨床診断、治療薬開発への応用の展開を理解する。	4月21日	教授 中西 真 名古屋市立大学医学研究科 細胞生化学
	4	抗がん剤の薬理学、がん化学療法の基本理論	がん実践医療に有用な抗がん剤の薬物動態、薬力学とともに、化学療法の基本理論・毒性を理解し、がん医療現場での安全ながん治療のための知識を習得する	4月28日	講師 前田 徹 名古屋市立大学 薬学研究科 臨床薬学教育研究センター
がんの基本的治療法	5	化学療法と分子標的療法	化学療法(抗がん剤)の基本理論を学び、かつ、近年、新薬として目覚ましい開発を遂げる分子標的療法との対比により、がん臨床における、診療、看護への注意点を明らかにしていく。	5月12日	講師 小栗 鉄也 名古屋市立大学医学研究科 腫瘍・免疫内科
	6	放射線診断・治療の進歩	がん治療における放射線治療の理論、安全管理を学ぶとともにがん種における適応、副作用対策、さらに最新の放射線治療法の概要を整理する。	5月19日	准教授 荻野 浩幸 名古屋市立大学医学研究科 放射線医学
	7	がんの集学的治療における外科治療の役割	がんの集学的治療における外科療法の位置づけを理解し、その適応疾患、また、進歩する縮小手術、腹腔鏡下手術の実践について学ぶ。	5月26日	准教授 澤井 博純 名古屋市立大学医学研究科 腫瘍免疫外科
がんのサポートケア	8	がんの緩和ケア	がん治療における緩和医療の重要性と概念の変化を理解するとともに、がん患者におけるQOLの理解、特にがん疼痛の実際的なマネジメント法を習得する。	6月2日	助教 坂本 雅樹 名古屋市立大学医学研究科 消化器外科
	9	担がん患者のこころのケア	がん患者の抱える精神的問題点を理解し、適応障害、うつ、自殺企図といった臨床上、重要な病態に対する対処法(治療法)とともに、心のケアの基本姿勢も習得する。	6月9日	准教授 明智 龍男 名古屋市立大学医学研究科 精神・認知・行動医学
	10	がん治療における副作用対策とセルフケア	化学療法に伴う副作用に関する基礎知識とその実践的対処法を習得するとともに、がん患者のセルフ支援の重要性と方法についてがん看護の立場から学ぶ。	6月16日	がん化学療法看護認定看護師 春田 真弓 名古屋市立大学病院 看護部
がん医療の現場から	11	化学療法レジメンと安全管理	化学療法レジメンの管理法、疑義紹介等、安全な化学療法の実践に求められる体系的な管理方法を学び、リスクマネージの意識を高める。	6月23日	がん薬物療法認定薬剤師 黒田純子 名古屋市立大学病院 薬剤部
	12	外来化学療法室におけるチーム医療	近年、増加する外来化学療法室の現状と問題点を理解しながら、職種を超えた医師、薬剤師、看護師の共同作業によるチーム連携医療の実践とその方法を学ぶ。	6月30日	部長 小松 弘和 名古屋市立大学病院 化学療法部
	13	造血細胞移植療法と医療連携の実践	化学療法の実践である造血幹細胞移植療法の基礎、適応、実践を理解するとともに、看護師、薬剤師との医療連携の重要性、目的を理解する	7月7日	助教 楠本 茂 名古屋市立大学医学研究科 腫瘍・免疫内科
がん医療の現状と近未来	14	抗がん剤開発と臨床試験	抗がん剤開発の現状、臨床試験や治験の基本的知識、臨床試験コーディネーターや看護師の役割を学ぶとともに、臨床現場に対応できるように実践的な学習を行う。	7月14日	准教授 飯田 真介 名古屋市立大学医学研究科 腫瘍・免疫内科
	15	がん対策基本法とがん拠点化	本邦のがん診療の骨格をなすがん対策基本法とがん診療拠点化の構想と基本計画について理解することで、がん医療の向かう方向性学ぶ	7月21日	教授 上田 龍三 名古屋市立大学医学研究科 腫瘍・免疫内科